

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

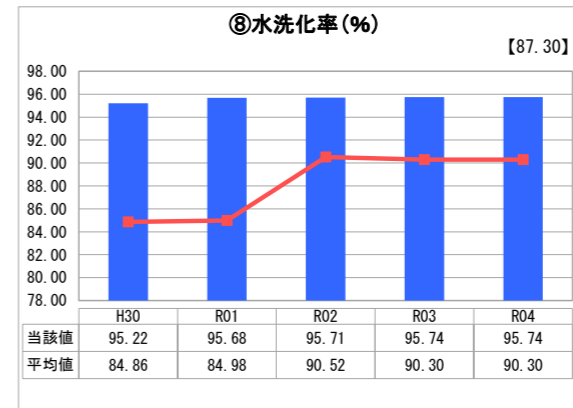
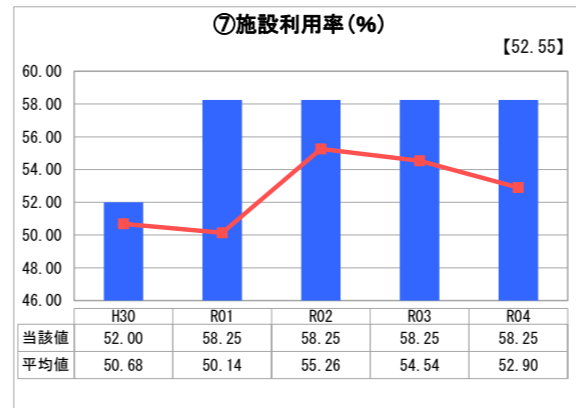
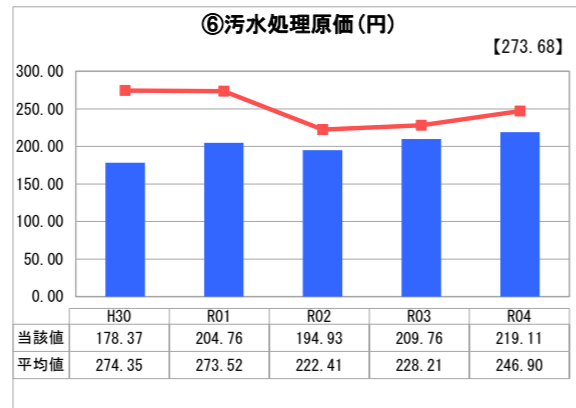
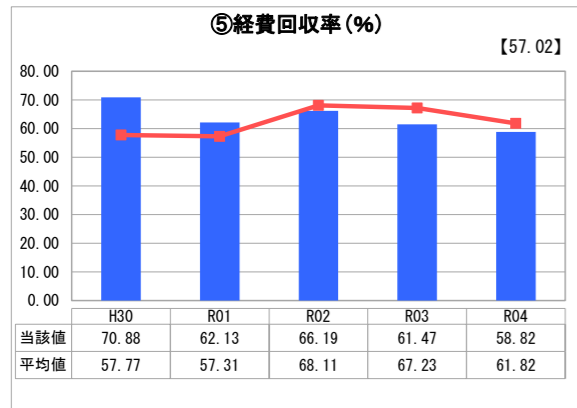
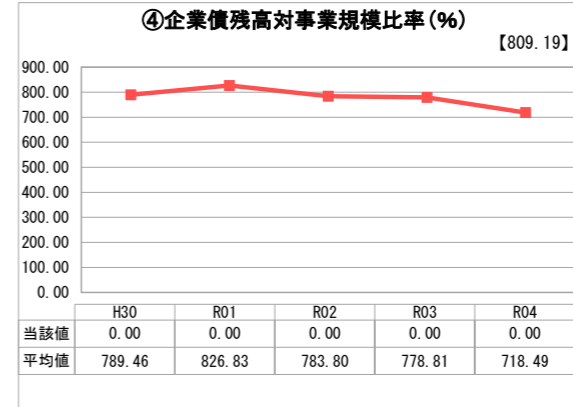
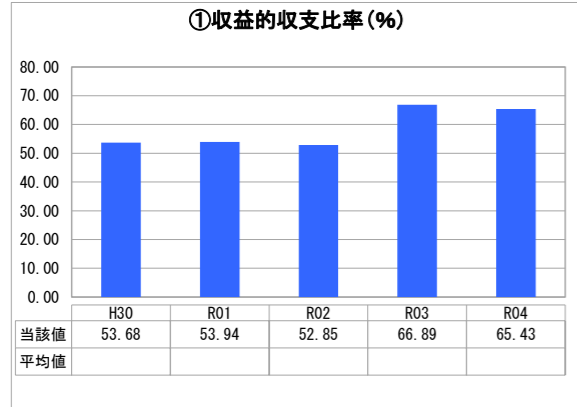
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	27.59	100.00	2,145

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,117	38.64	468.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,973	7.73	643.34

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
令和4年度は前年度比1.46%減で、大きな変化はない。使用料収入の減少を主な要因として総収益は前年度比2,066千円減の一方、地方債償還金は2,621千円増加したが、比率に大きな影響を与えるほどの変化ではない。

④企業債残高対事業規模比率  
地方債現在高と一般会計負担額が同額のため、平成30年度以降は0%となっている。

⑤経費回収率  
経費回収率は低下傾向にある。令和4年度は使用料収入が前年度比1,590千円減の一方、汚水処理費が2,073千円増となり、これにより比率は前年度比2.65%減となった。

⑥汚水処理原価  
上昇傾向にあり、令和4年度は前年度比で9.35円上昇した。これは使用料収入が1,590千円減少した一方で、動力費の増加を主な要因として、汚水処理費が2,073千円増加したためである。

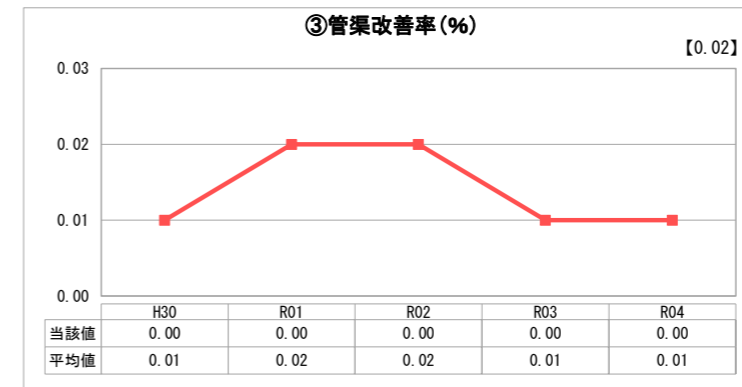
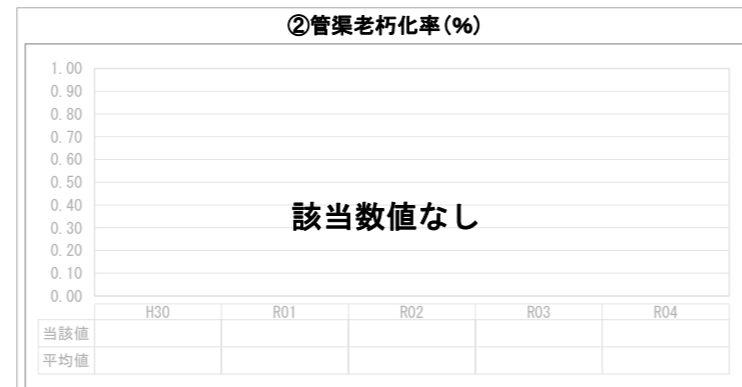
⑦施設利用率  
令和元年以降58%台で安定して推移している。使用者のほとんどが一般家庭であり、汚水の排除量に大きな変動がないことが要因と思われる

⑧水洗化率  
95%台で推移している。事業開始時に地元住民の組合が宅内の排水設備等を一括して施工したため、ほとんどの家庭で接続済みとなっていることによる。

### 2. 老朽化の状況について

供用を開始してから30年を経過している区域があるため、最適整備構想等を策定し対応して行く予定である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

使用料収入の減少の一方で維持管理費の上昇する傾向が見られる。中長期的な視点で経費節減、料金改定等の検討を行い、計画的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。